

老朽化が進んでいる。実習の日は中学生が部活で利用していた。中高生だけでなく、高齢者の健康維持のための運動の場としてや、多世代交流の場としてレクリエーションを行うというような利用の仕方もできるのではないだろうか。また災害時には、避難所として利用している。

①都農町民体育館

体育館付近で、草で覆われた空き地を発見した。一軒家を立てるには少し広すぎるため、店などを誘致したりするのに適していると思われる。ただ、立地的に経済効果は期待できなさそう。しかしながら、主要道路からはずれているが、市役所などの主要機関の近くであることもまた事実であり、活用法を見つきたい。

②体育館付近の売地

田んぼが広がっているなかで特に大きい建物であり、ひときわ目をひく集合住宅、外観は少し古めにみえるが、周辺に店も多いため、利便性も高い。居住地の立地的には非常に良いだろうと思われる。

③体育館付近のアパート

土曜日だったということもあり人は少なかったが、高齢者向けのサービスが充実していることが分かった。若者向けのサービスを充実させれば人口も増加して町も活性化するのではないかと考えた。

④都農町役場

役場から少し歩いたところに出る通り。店などの建物は見えるが、昼間であるにもかかわらず、人を全く見かけない。大通りの賑わいとは打って変わって閑散としていた。大通り以外にも手を加えたうえで目立つようにPRすれば古き良き都農町の活気を取り戻せるのではないだろうか。

⑤役場付近の道路

地元産の野菜、果物、加工品、お土産品が販売されている。また、情報休憩スペースでは、グルメマップや英語表記の観光マップが置かれており、都農についてもっと知りたいと思った観光客が都農の魅力を知ることになるのではないだろうか。

⑥道の駅つもの

道の駅つものとは都農神社を結ぶ赤い開運橋。渡った先にある都農神社は、宮崎県で一番格式の高い「日向国一之宮」の神社である。神武天皇の願いをかなえた都農神社は、心願成就にご利益があるパワースポットとして、県内外の観光客を呼び込むことができるのではないだろうか。

⑦赤い開運橋

ビニールハウスでトマトを栽培していた。ワインや牛肉に比べて知名度が低いように感じるのでトマト狩りなどPRや売り出し方次第では今後更なる売り上げの増加や事業の発展、商品開発が見込めると思う。

⑧田畑と農道

都農町全域に広く流れている。県の知事が認定した二級河川であり、周辺の田んぼに水を引いている。多様な生物が生息しており、水資源として非常に重要な役割を果たしている。また、川祭りといったイベントが行われることもある。

⑨都農川と橋

宮崎リニア実験線跡の高架を利用して設置されているソーラーパネル。幅3.5mの高架に約1万2500枚のパネルが設置され、稼働している。年間124万キロワットの電力を生み出すと想定されている。家庭用としては少ないため、ビニールハウスの温度調節などに活用するのがよいのではないだろうか。

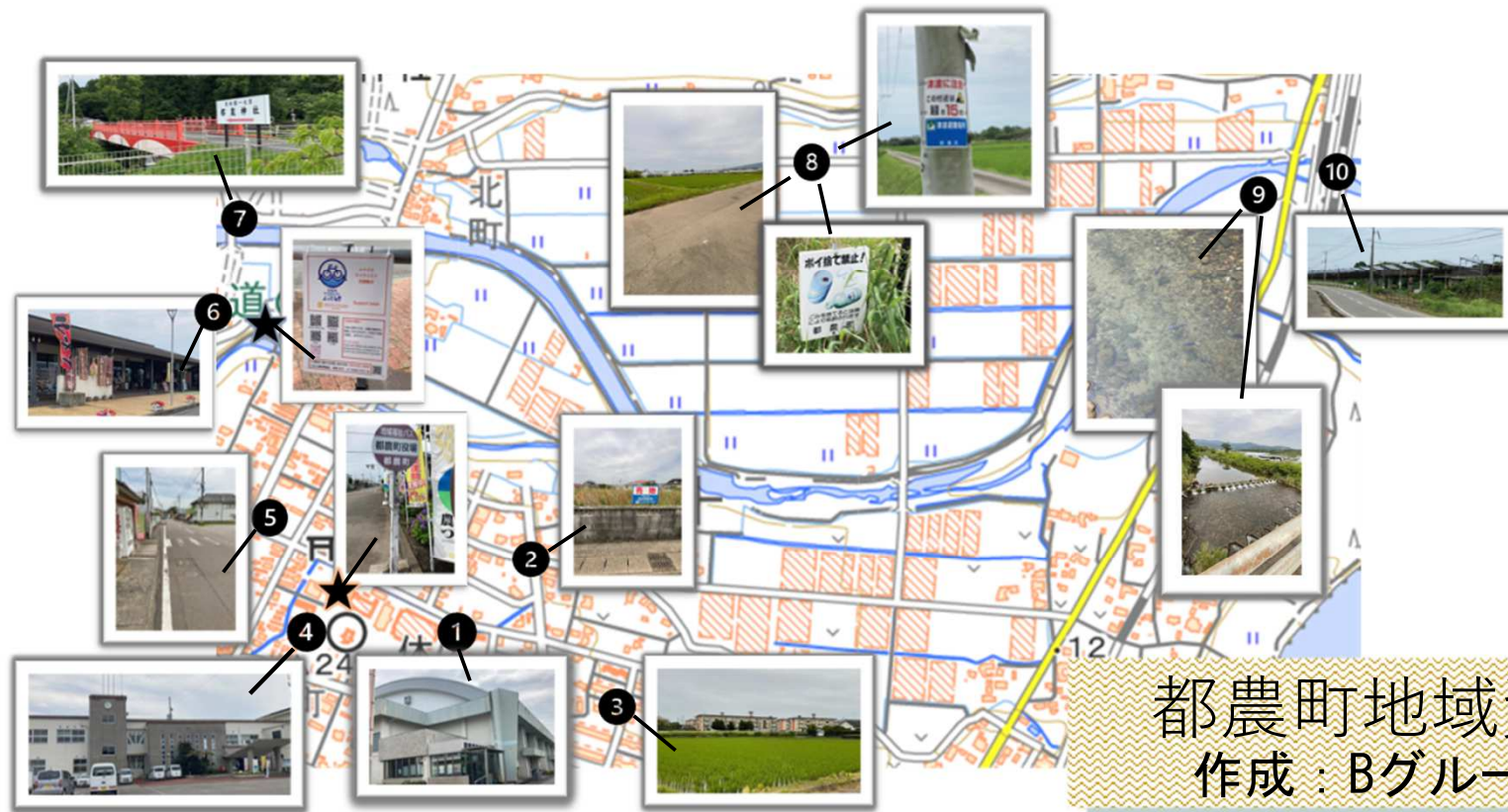
⑩ソーラーパネル

地域福祉バスのバス停。都農駅や道の駅、町内の病院やスーパーなどへ行く路線を運行している。平日のみ利用ができ、利用料金は1人1回あたり200円。交通量の少ない地域では、バス停以外の場所でも手を挙げて知られば乗降可能。交通難民、買い物難民問題のよい解決策の一つであると思った。

★地域福祉バス

道の駅つものに設置されている「ひなたサイクレストよってね」。自立スタンドがない自転車のためのサイクルラックや空気入れ、簡易工具が用意されており、誰でも利用することができる。宮崎県のサイクルツーリズムの推進に期待できそうである。

★ひなたサイクレスト



都農町地域資源マップ

作成：Bグループ (12班)

